

全力サポート！

企業の成長力

本県では、企業のうち中小企業の占める割合が99.9%と全国的に見ても非常に高い割合となっており、中小企業は、地域の雇用と経済を支える大きな原動力となっています。技術革新の進展や国際市場での激しい競争など産業をとりまく状況が劇的に変化している中で、中小企業が成長していくためには、変化に対応した技術開発や国内外に向けた積極的な販路開拓が必要です。

そこで県では、優れた製造技術や商品を持ちながら、企業規模が小さいために新商品を開発する余力や市場拡大のノウハウがない企業、さらなる事業の拡大や世界規模の取引をめざす企業などさまざまな企業の支援に取り組んでいます。

さらに、新たな担い手の発掘・支援や企業誘致の推進などによる新たな産業の創出と、産業を支える優秀な人材の確保に取り組み、企業の成長力を全力で後押しします。

中小企業の競争力強化

技術開発

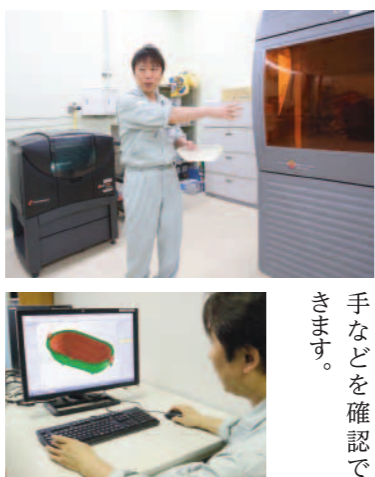
県庁産業技術政策課 ☎073-441-2355
 県工業技術センター ☎073-477-1271

県工業技術センターでは、「開かれたセンター」として多くの企業の要望に応えるため、4つの「オープンラボ」を整備しました。分野ごとに関連する機器類を集約し、基礎から応用まで連続した技術開発を可能としました。ラボでは、センター職員をサポートのものと企業が最先端機器を自社の製品開発のために利用することができます。

また、製品開発をめざす企業に対して、新製品を生みだすための基礎研究から実用化に向けた応用研究まで、それぞれの段階に応じた資金支援を行っています。

県工業技術センター

ものづくり産業界を支援 3Dスマートものづくりラボ



コンピュータで製品の立体設計図を作成し、設計された製品の強度が十分かなどをシミュレーション（模擬実験）することができ、従来の試作方法より短期間で、安価に製品開発が進められます。また、3Dプリンターは、コンピュータ上のデザインをそのままの形で作り出すことができるため、実際の使い勝手などを確認できます。

食品産業界を支援 フードプロセッシングラボ



加工室と開発室からなり、加工室では加工食品の試作や加工の条件検討が行えます。高温の水蒸気で食材を短時間で加熱する装置や果実などの裏ごしができる機械など、さまざまな食品加工機器を集約しており、農産物の加工食品開発などに活用できます。また、開発室では、加工室で加工した製品の分析や評価が行えます。

皮革・繊維産業界を支援 レザー&テキスタイルラボ



染色した生地が摩擦によってどの程度色移りするかを調べる機械など、繊維、皮革に関連した機器を集約しています。また、技術開発や品質管理の参考となるよう繊維や皮革関連の文献を取りそろえた図書スペースは、いつでも閲覧可能です。

化学産業界を支援 ケミカルスマートものづくりラボ



新しい化学製品の開発に、化学物質の安定性や反応性、性能をコンピュータによりシミュレーションする「計算化学」の活用を進めています。未知の製品であっても理論的に予測することができ製品開発の効率化が図れます。

和歌山の産業施策を一元的に集約したWEBサイト「わかやま企業応援ナビ」を開設しました！

県では、前向きに進もうとしている人を応援する全国有数の施策を数多く用意しています。あれこれ資料を探さなくても、知りたい施策を見つかることができます。



わかやま企業応援ナビ 🔍

農林水産業の方はこちら

明日の和歌山を創る！

わかやま農林水産業支援ナビ 🔍

わかやま農林水産業支援ナビ 🔍

フードプロセッシングラボ (開発室)



Interview



榎キタタニ 代表取締役 北谷英市さん

オープンラボを利用して

今回、加工食品開発のための原料となる梅ピューレ作りのためにラボを利用させてもらいました。ピューレ作りを外部委託することもできませんが、今後、無駄なく効率的に商品化していくうえで、実際に機械を使うとその特性を知ることが重要だと考えています。農産物は、タイミングを逃さず一番良い状態で原料にする必要があるため、安価で機械を利用できるラボが身近にあるのはとても助かっています。

開発段階に応じた資金支援

未来企業育成

中小企業が中核となって、大学や県工業技術センターなどと連携して基礎技術を開発するための共同研究に対して支援します。

委託費: 50万円以上400万円以内

先駆的産業技術研究開発支援

基礎技術開発の初期段階から一歩進んで、市場に投入するための実用化に向けた応用研究や先端技術の開発など、製品化を見据えた企業独自の研究開発に対して補助します。

補助率: 3分の2以内

補助額: 2,000万円以内

期間: 最長3年